

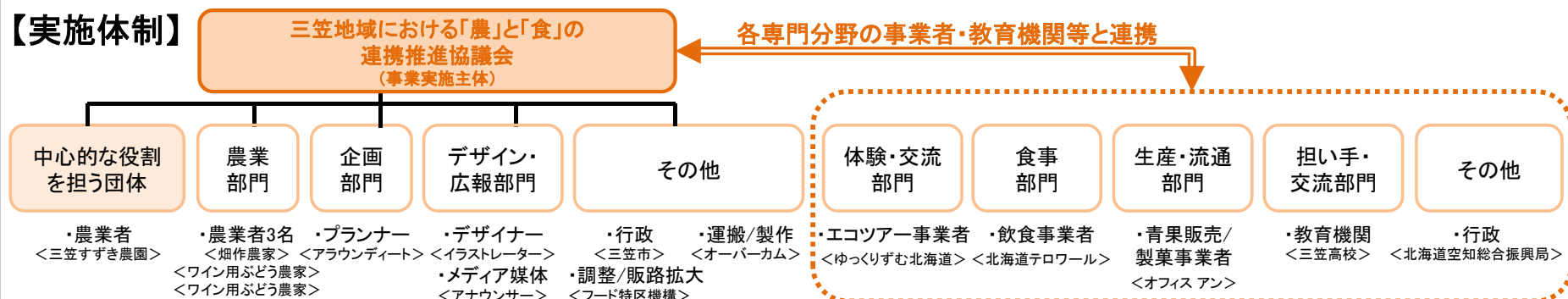
三笠地域における「農」と「食」の連携推進協議会

- 三笠地域に農泊の拠点を整備し、農業体験やエコツアー等の中核拠点にするとともに、他の多様な地域資源とも連携することで、来訪者による地域での「滞在・時間消費」を促す事業を産業化
- 多様な農泊イベントによる実証実験を行い、施設開業に向けた基盤づくり
- 地域内の高校と連携した資源調査ワークショップや体験活動を実施し、地域との連携や農泊事業への理解を促進
- 実証実験やワークショップ等の結果を踏まえ、広報活動や施設整備に向けた基本構想を策定

北海道三笠市



【実施体制】



【採 択 年 度】
平成29年度

【事業実施期間】
平成29～30年度

【特徴的な取組】

- りんご畑や水田などの農作業体験、既存施設を活用した宿泊実証実験、エコツアー、加工品づくり体験、料理教室等の「農泊イベントによる実証実験」を行うに際し、飲食店やフードコーディネーターとの連携により「食」をテーマとすることで、参加者の高い満足と高付加価値型の時間消費を創出。
- 農泊イベントによる実証実験の成果を踏まえた、拠点となる常設の農泊施設（レストラン、宿泊施設、加工品製造・販売）の整備を行う（平成30年度）。



農作業とランチを楽しむ農業体験
＜オーチャードテーブル＞



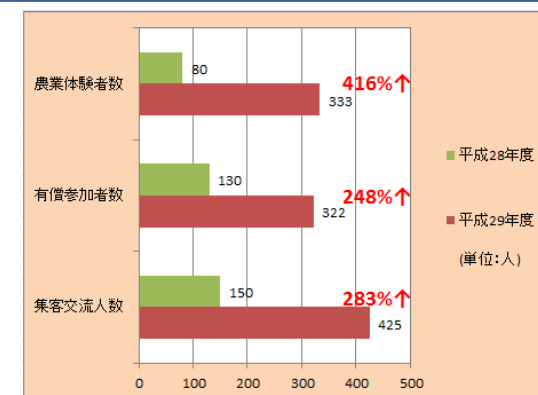
廃線駅舎を活用した宿泊実証実験
＜一夜限りのオーベルジュ萱野駅＞



インバウンド集客によるエコツアー実験
＜空知ヴァインヤードウォーク＞

【取組内容】

これまで外部からの来訪・滞在が極めて少なかった農業地域において、農泊イベントによる実証実験により多くの集客と時間消費を創出するとともに、地域内での農泊事業に対する理解促進が深まる。



インバウンド対応状況（青：対応）

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約



施設整備予定地隣で参加型農業体験による植樹を行ったりんご畑